

台湾高雄市の初等音楽教育

Elementary Music Education at Kaohsiung City in Taiwan

新 村 元 植
Genshoku Shimmura

鹿児島女子短期大学

台湾で小学校から実施されている公教育は日本と同様に6・3・3・4制であるが、その中でも本稿では小学校での音楽教育に注目する。まず、小学校では表現系の教科である美術（図画工作）や音楽、演劇要素を含む身体表現を統合し、2000年から「芸術と人文」に教科を統合した。本稿では「芸術と人文」の概要を紹介し、15年ほど経過したこの教科が現在においてどのように機能しているのか、その問題点は無いかを検証した。その結果、訪問した前金小学校では週3校時実施している内容は統合以前と変わらず、音楽2校時、美術1校時であった。そして、身体表現を含む演劇的要素は教師が不足しており毎週実施する教科授業としては実施していなかった。また、一部の公立小学校においては各才能に秀でた児童を集めて才能教育クラスを設置して専門的な教育を実施している。この中でも音楽才能教育について紹介し、その成果について検証した。訪問した小学校では、教師が児童の才能を育成する充実した教育が実施されていたが、児童の費用負担など、日本の公教育とは相違する教育方法が選択されていた。

キーワード：音楽教育、高雄市、才能教育、芸術と人文

はじめに

台湾では日本と同様の6・3・3・4制の教育制度が制定されている。満6歳で入学する国民小學（小学校）と國民中學（中学校）の9年間が義務教育であり、1998年の教育改革で、小学校教育はそれまでの「國民小学課程標準」から、2000年に日本の小学校及び中学校学習指導要領に相当する「國民中小學九年一貫課程暫行綱要」（九年一貫課程綱要）が告示された。これは義務教育を9年間の枠組みで教育することを目指しており、2003年から運用を開始した。芸術分野では「國民小学課程標準」での「美勞（図画工作）」と「音樂」及びダンス・演劇を含む表現芸術が九年一貫課程綱要では「芸術と人文」に合科された。

また、台湾では、九年一貫課程綱要で示された標準的普通小学校教育とは別に、才能教育クラスを設置できる「藝術教育法及其施行細則」が2000年（民國89年）1月から施行された。本稿では高雄市立前金小学校で実施されている音楽教育を紹介し、九年一貫課程綱要に示された「芸術と人文」を基にした台湾での標準的音楽教育と「藝術教育法及其施行細則」に基づき、公教育で実施される音楽才能教育に注目し、主として国楽才能教育クラスについて調査する。本稿では地名、法律及び固有名称以外は筆者が訳出し、日本語で表記する。

1. 台湾の小学校教科

1) 学習領域

台湾教育局が作成した日本の学習指導要領に相当する九年一貫課程綱要では、小学校におけるそれまでの学習活動について教科から学習領域という概念を導入し、「語文(言語)」、「健康與體育(健康と体育)」、「社會(社会)」、「藝術與人文(芸術と人文)」、「自然與生活科技(自然と生活科学技術)」、「數學(数学)」、「綜合活動(総合活動)」の7学習領域に変更した。この中で1・2年生は「社会」、「芸術と人文」、「自然と生活科学技術」が「生活」に合科されている。さらに2008年からは3年生から「語文」に「英語」が導入されている。（表1）

2) 九年一貫課程綱要の「芸術と人文」小学校課程概要

九年一貫課程綱要に示された小学校における「芸術と人文」では、全ての表現系教科を芸術という領域で捉えて、教育しようとしている。日本では特に身体表現については教科体育的要素として捉えているが、台湾では演劇的要素として捉えており、芸術的表現を重視している。以下に九年一貫課程綱要の「芸術と人文」小学校課程概要については以下の通りである。

《表1》 台湾の小学校における学習領域及び教科（教育局2008年以降）

学習領域	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
言語	国語	国語	国語 英語	国語 英語	国語 英語	国語 英語
健康と体育	健康と体育	健康と体育	健康と体育	健康と体育	健康と体育	健康と体育
社会	生活	生活	社会	社会	社会	社会
芸術と人文			芸術と人文	芸術と人文	芸術と人文	芸術と人文
自然と生活 科学技術			自然と生活 科学技術	自然と生活 科学技術	自然と生活 科学技術	自然と生活 科学技術
数学	数学	数学	数学	数学	数学	数学
総合活動 (団体行動, 補導活動, 郷土教學活動)	総合活動	総合活動	総合活動	総合活動	総合活動	総合活動

* 國民中小學九年一貫課程綱要から抜粋，日本語表記は筆者

(1) 基本理念及び目的

- ・ 児童の芸術的知識と技能を育成する。
- ・ 積極的な芸術活動への参加を促す。
- ・ 児童の芸術鑑賞能力を向上させる。
- ・ 生活における情趣を陶冶する。
- ・ 健全な人格を発展させる。
- ・ 芸術教育が児童の生活環境の中で人や自然の触れ合いを探究する機会を創る。

(2) 課程目標

① 探求と表現

自己を探求し，環境と個人の関係を理解して芸術創作活動を行い生活と心を豊かにする。

② 審美と省察

審美する活動を通して，芸術の価値や様式等を理解し，生活の質向上を目指す。

③ 文化と理解

芸術様式を理解し，多様な芸術活動に参加して芸術に対する視野を広げ，互いの尊重と理解を促進する。

3) 「芸術と人文」における各段階の能力指標と細目

表2に九年一貫課程綱要から抜粋した学習指導計画における各学年の目標及び内容を示した。これは日本の小学校学習指導要領における系統表に相当する表である。日本と同様に低学年(1・2年生)，中学年(3・4年生)，高学年(5・6年生)に分けて記述されている。この指導計画では「芸術と人文」教科を3要素として記述している。主として，「探求と表現」は演劇的要素を示し，「審美と省察」は音楽及び美術的要素を示し，「文化と理解」は総合的な芸術への理解を示している。

4) 「芸術と人文」学習領域の教科指導

2016年11月に高雄市立前金小学校を訪問した。前金小学校の音楽教育は，音楽普通科目である「芸術と人文」と特殊教育に位置付けられる才能教育を実施している。そこで特殊教育の総合統括主任である孫秀琴先生に面談し話を聞いた。

まず，「芸術と人文」については学習領域としての音楽と美術を統合的に指導する難しさについて話された。教科書は統合されたが，音楽や美術等の実技を専門とする教師にとって総合的に一教師が教育することは出来ない。特に音楽専科の教師が美術を指導することは難しい。音楽と美術の合科的授業は簡単では無い。ほとんどの小学校は別々に指導している。高雄市の小学校は1校時が40分であるが，前金小学校では週3校時の枠で音楽を1校時，美術を2校時設定している。また，演劇的要素を含む表現系の芸術についても指導しなければならないが，これについては，高雄市にゲストティーチャーによる指導計画を申請し，承認を得て指導する先生を招聘する。教科指導については，多忙により同一教科を指導する教師相互の意思疎通が問題になっており，先生方のコミュニケーションには今後配慮が必要になってきている。

《表2》 九年一貫課程綱要の「芸術と人文」における各段階の能力指標と細目

	第1 段階(第1・2 学年)	第2 段階(第3・4 学年)	第3 段階(第5・6 学年)
探 求 と 表 現	<p>1-1-1 様々な素材を試み、豊富な想像力を喚起し、視覚的・聴覚的・演出的な芸術活動に従事し、創作の喜びと達成感を体験する。</p> <p>1-1-2 視覚的、聴覚的、演出的な芸術の創作形式を用い、自己の感受と考えを表す。</p> <p>1-1-3 素材と芸術形式を結合させ、創作活動を行う。</p> <p>1-1-4 正しく、安全に、効果的に工具を用い、創作と展示、演劇活動に従事する。</p>	<p>1-2-1 様々な素材、技法、形式を探索し、異なる創作の要素の効果と差異を理解し、創作活動を行う。</p> <p>1-2-2 視覚的、聴覚的、演出的な創作形式で、豊かな想像力と創作力を表すことを試みる。</p> <p>1-2-3 創作活動に参加し、獲得した知識、技法の特性、及び感じたことを自分の記号で記録する。</p> <p>1-2-4 視覚的、聴覚的、演出的な創作の要素を運用して、展示・演劇活動に従事し、個人の感受と考えを表す。</p> <p>1-2-5 同級生と共有、企画、協力し合い、創作活動に従事することを試みる。</p>	<p>1-3-1 様々な創作方法を探索し、創作の想像力を表現する。</p> <p>1-3-2 創作の主題と内容を考えて、適切な素材と技法を選び、計画・感情・思想のある創作を完成する。</p> <p>1-3-3 創作的技法を用いて創作の方法で、個人の考えと感情を表すことを試みる。</p> <p>1-3-4 グループ創作の方法で、他人と協力して芸術作品を完成する。</p> <p>1-3-5 テクノロジーを用いて、新たな創作経験と方向を開発する。</p>
審 美 と 省 察	<p>2-1-5 様々な自然物や人工物、及び芸術作品に触れ、初歩的な審美の経験を築き上げる。</p> <p>2-1-6 様々な色、図、像、音声、旋律、姿勢、表情、動作の美を体験し、自己の感受を表す。</p> <p>2-1-7 地域の芸術活動に参加し、自分が生活している周囲の芸術と文化を認識し、芸術と生活の関係を体得する。</p> <p>2-1-8 身近な創作、異なる民族の作品を鑑賞し、多文化の特質を感じ取り、创作者の表現様式を尊重する。</p>	<p>2-2-6 自然物と人工物の特質と芸術作品の美を鑑賞し、区別する。</p> <p>2-2-7 同級生の視覚的、聴覚的、演出的な芸術作品を鑑賞し、個人の感受と他人の創作への見解を述べられるようにする。</p> <p>2-2-8 地域の芸術活動に参加することによって、自分の地域や故郷の芸術文化を理解する。</p> <p>2-2-9 身近な郷土の文物や伝統芸術、日常生活と関わる芸術作品を収集し、その特色と背景を解釈することを試みる。</p>	<p>2-3-6 分析、記述、及びディスカッションを通して、自然物、人工物、及び芸術作品の特徴と要素を識別する。</p> <p>2-3-7 環境と生活の関係を認識し、環境が芸術表現に及ぼす影響を考える。</p> <p>2-3-8 適切な視覚的、聴覚的、演出的な専門用語を用いて、自分と他人の作品の特徴と価値を説明する。</p> <p>2-3-9 ディスカッション、分析、判断などの方法を通して芸術作品への審美経験と見解を表現する。</p> <p>2-3-10 芸術活動に参加し、異なる文化の特色と背景を記録し比較する。</p>
文 化 と 理 解	<p>3-1-9 芸術創作を通して、自己と他者、自己と自然、及び環境との相互関連を感得する。</p> <p>3-1-10 芸術活動や展示・演劇を鑑賞する際の望ましいマナーと態度を養う。</p> <p>3-1-11 創作形式や作品を運用して、生活の面白さを増し、自己あるいは自己に関する生活空間を美化する。</p>	<p>3-2-10 地域の生活に応用されている芸術作品を認識し、自分の好きな方法で生活に実行する。</p> <p>3-2-11 芸術の創作活動と芸術作品を運用して、生活空間と心を美化する。</p> <p>3-2-12 鑑賞とディスカッションを通して、我が国の芸術を認識し、先祖たちの芸術的成果を尊重する。</p> <p>3-2-13 望ましいマナーと態度で芸術を鑑賞する。</p>	<p>3-3-11 正しい観念と態度で様々な芸術作品を鑑賞する。</p> <p>3-3-12 テクノロジーと様々な方法を運用して、異なる芸術と文化の情報を収集し分類する習慣を養う。</p> <p>3-3-13 学んだ芸術の知識を運用して、生活空間を美化することを自分で設計・企画する。</p> <p>3-3-14 主題を選んで、その主題に関する芸術作品を収集する。例えば、美術、商業芸術、生活芸術、民俗芸術、伝統芸術などを日常生活に進んで取り入れる。</p>

*林呈馨(2014)『芸術教育における台湾と日本の比較研究』奈良教育大学大学院教育学研究科 pp.8-9

「芸術と人文」の教科書については、出版社は高雄市教育局が複数選定する。使用する教科書は小学校が選定する。日本の小学校では教科書は各児童へ無料配布であるが、高雄市では教科書を小学校備品として児童が借用し、教科書は3年ごとに更新する。教材内容についても更新時に見直す事になっている。これは「芸術と人文」だけではなく、他の教科も同様に実施する。日本では各学年の共通教材があるが、「芸術と人文」教科では決められていない。

以上の面談内容からは、独立の教科であった芸術教科を統合し、指導することの難しさが窺える。前金小学校での「芸術と人文」教科指導に対する教師の実態は、統合する以前とほとんど変わらない。これは教師を育成する大学にも問題があり、「芸術と人文」を単一教科として指導できる教師を育成しないと解決できない問題であるが、大学の資格カリキュラムにまで影響するするために、解決することは容易では無い。

2. 高雄市直立小学校の音楽才能教育

台湾では、九年一貫課程綱要で示された標準の普通小学校教育とは別に、特殊教育として才能教育クラスを設置できる

「藝術教育法及其施行細則」が2000年（民國89年）1月から施行された。これは小学校から大学に至る才能教育について公教育の場で実施できる事を定めている。才能教育クラスを設置している小学校では、独自のカリキュラムを設定し実施できる時数（弾性学習時数）を使用して教育を実施出来ることになった。

これにより、高雄市では「高雄市芸術教育法及び実施細則」¹⁾を施行し、小学校児童の才能を重視する教育を実施している。対象教科は芸術系では、音楽（弦楽器・管楽器・打楽器）と美術である。また、芸術才能教育クラスには芸術才能班とさらに個人の技量が優れている芸術才能資優班がある。これは、高雄市では新興区にある信義小学校に設置されている。その他に設置されている才能教育クラスとして、今回は言及しないが、体育や知性（理科系及びPC関係教科）を伸ばすクラス（資源班）も編成されている。

芸術才能クラスについては、2016年度「高雄市芸術教育法及び実施細則」及び「高級中等以下学校芸術才能班設立標準」²⁾によるとその目的は以下の通りである。

①優れた音楽の才能を持つ児童を育成するために、専門家による音楽教育を実施し、適性を発展させ、様々な芸術専門性を持つ人材を育成する。

②優秀な音楽的才能を持つ児童に対して、芸術的認知、演奏能力、創作及び鑑賞の能力を増進させ、美的情操を涵養し、健全な人格を発展させる。

また、「藝術教育法及其施行細則」と同時期に「高級中等以下学校芸術才能班設立標準」を施行し、小学校における各芸術才能クラス（芸術才能班）設置校ごとの児童数、専門教員数、試験内容等を定めている。

高雄市が設定した「高雄市105學年度國民小學音樂類藝術才能班新生聯合鑑定簡章」(小学校音楽芸術才能クラス選抜試験規定)によると、芸術系音楽クラスを設置している小学校は、高雄市の38行政区の内、以下の12校である。苓雅区及び三民区は2小学校、鳳山区は3小学校、その他は1行政区に1小学校が配置されている。小学校については、才能クラス設置以前から芸術活動が盛んである小学校が選定されている。そして、これらの小学校は「高級中等以下学校芸術才能班空間設備及經費設立基準」(2008年3月告知)により施設設備が整備されている。

以下の表は芸術才能クラスが設置されている小学校である。(表3)設置されているクラスは、管弦楽(管楽器・弦楽器・打楽器)、吹奏楽(管楽器・打楽器)、国楽(打楽器を含む中国民族楽器)、木笛(リコーダー)、児童楽隊(アコーディオンを主とした器楽合奏)の5種類のクラスが配置されている。以下は配置されている行政区と小学校及び芸術クラスである。

《表3》 芸術才能クラス設置小学校

行政区	小学校	芸術クラス	行政区	小学校	芸術クラス
新興区	信義國小	管弦楽	鳳山区	瑞興國小	吹奏楽
鹽埕区	鹽埕國小	管弦楽	三民区	陽明國小	吹奏楽
鳳山区	鳳山國小	管弦楽	楠梓区	楠梓國小	吹奏楽
前金区	前金國小	国楽・吹奏楽	三民区	光武國小	木笛
苓雅区	中正國小	国楽・吹奏楽	新興区	七賢國小	児童楽隊
鳳山区	忠孝國小	吹奏楽	苓雅区	凱旋國小	児童楽隊

*高雄市105學年度國民小學音樂類藝術才能班新生聯合鑑定簡章から抜粋、筆者編集

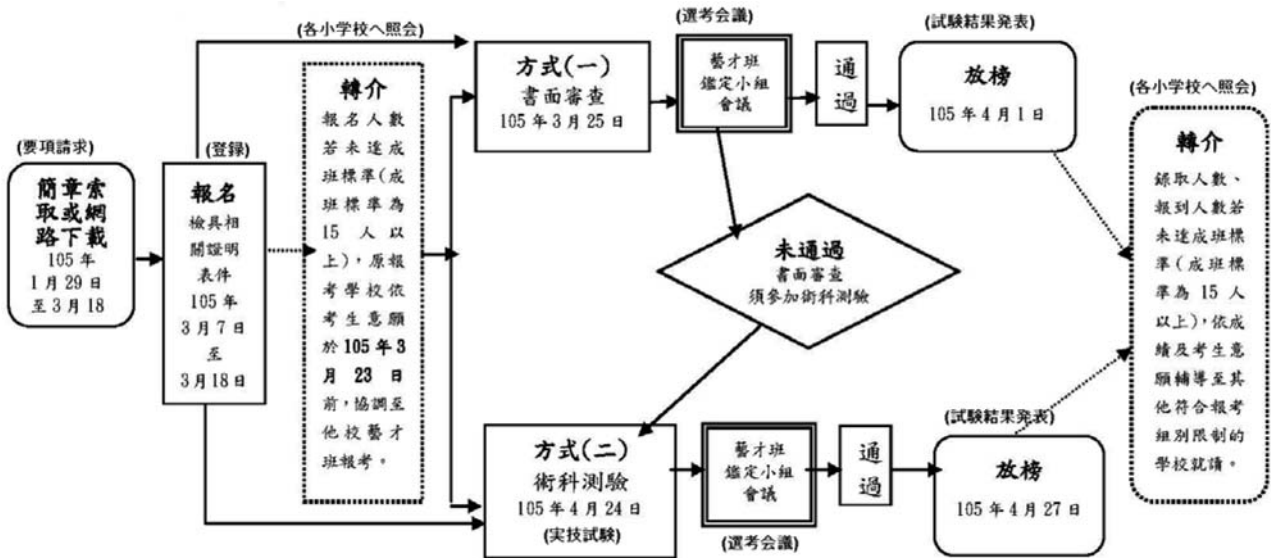
これらの小学校選抜は、学区を越えて児童が希望する。芸術クラスを希望する児童は小学校2学年の3月に選考試験がある。各学校のクラス人数上限は29名で、合格者が15名未満であればクラスは編成しない。合格した児童は、新学期である9月の3学年から専門教育を受けることができる。2016年度では、選考試験受験料は1100台湾ドル(元)である。図1は2016年3月に実施された合格までの選考試験課程に関する内容と選考楽器である。

1) 選考試験

選考試験内容：

①音楽の基本的な能力(ピッチとリズム)：グループ試験。

②専攻楽器演奏能力：個別試験



* 高雄市105學年度國民小學音樂類藝術才能班新生聯合鑑定簡章より抜粋

* () の日本語表記は筆者

《表4》 選考試験楽器

組別	楽器	考 試 内 容
鋼琴	鋼琴	自選曲一首：限三分鐘以內 (伴奏自備、需背譜)
弦樂	小提琴、中提琴、大提琴、低音大提琴	
管樂	長笛、單簧管、雙簧管、低音管、法國號、小號、 低音號、上低音號、長號、薩克斯風	
國樂	南胡、琵琶、柳琴、揚琴、古箏、梆笛、曲笛、笙	
木笛	木(直)笛	
打擊 樂器	木琴、鐵琴、鐘琴、小鼓或堂鼓	

* 鋼琴(ピアノ)、弦樂(ヴァイオリン等)、管樂(国楽で使用する楽器を含む金管楽器)、國樂(中国民族楽器)、木笛(リコーダー)、打擊樂器(鍵盤打樂器や國楽で使用する打樂器)

* 「高雄市105學年度國民小學音樂類藝術才能班新生聯合鑑定簡章」より抜粋

3. 前金小学校の音楽才能教育

2015年及び2016年の11月に台湾高雄市立前金小学校を訪問した。前金小学校では、音楽教育が盛んで、普通教科の音楽教育(芸術と人文)の他に吹奏楽(管樂)と中国民族楽器(國樂)の音楽才能クラスがある。今回は國樂藝術才能班(國樂才能教育クラス)に注目する。なお、前金小学校データは全て許諾を得て掲載している。

1) 前金小学校の概要

前金國民小學(前金小学校)の前身は1937年(昭和12年)に創立された「高雄市大和尋常小學校」である。1946年に高雄市前金國民學校、1957年に前金國民小學に改称した。また普通小学校教育クラスの他に、1989年には音楽教育クラス(現在の國樂藝術才能クラス)、2000年に吹奏楽音楽教育クラス(現在の吹奏楽芸術才能クラス)が開設された。³⁾

2015年現在の前金小学校データを示す。(表5)台湾では2015年の合計特殊出生率は1.12であり⁴⁾、児童数は減少しつつある。また、小学校教員資格については現在、短期大学卒は取得出来ない。最終学歴は大学院卒業以上が全教員の55%以上を占めている。

《表5》 学校基本資料⁵⁾

教職員人数		67名	全校学生人数		909人		師資背景分析(教員資格)			
学 生 人 数 分 析 (児 童 数)						項 目	類 別	男 生 (人)	女 生 (人)	
年 級 (学 年)		班 級 數 (ク ラ ス)	男 生 (人) (男 児)	女 生 (人) (女 児)	年 齡	30歳以下	0	0		
一 年 級		5 班	6 4	5 8		3 1 - 4 0 歳	2	2 3		
二 年 級		6 班	7 1	8 2		4 1 歳 以 上	1 6	2 6		
三 年 級		7 班 (管 楽 班) (國 楽 班)	86 (19) (1 7)	72 (17) (1 7)	年 資	10年以下	1	4		
						11-20年	12	30		
						21年以上	5	15		
四 年 級		7 班 (管 楽 班) (國 楽 班)	89 (15) (1 7)	75 (17) (1 7)	學 歴	専科學校以下	0	0		
						大學院校(大学)	5	22		
						研究所以上 (含 四 十 學 分 班)	10	27		
五 年 級		7 班 (管 楽 班) (國 楽 班)	71 (22) (1 1)	72 (11) (1 1)		各分項小計	18	49		
六 年 級		7 班 (管 楽 班) (國 楽 班)	71 (10) (1 7)	88 (17) (1 7)	※()は内数, 児童数については3学年から國樂クラス及び管樂クラスの芸術選択児童数を含む. ※資優班, 資源班は音楽教科以外の他教科特殊教育クラス.					
普 通 班 總 計		3 9 班	4 5 2	4 4 7						
啟 智 班 (特 別 支 援)		1 班	7	3						
資 優 班		2 班	1 6	4						
資 源 班		1 班	2 0	1 1						
全 校 總 計		4 3 班	4 5 9	4 5 0						

2) 音楽才能クラス指導計画

前金小学校の音楽才能クラスは国楽クラス(中国民族楽器, 打楽器を含む)と管楽クラス(吹奏楽器, 打楽器を含む)がある. 2016年(民國105年)6月の前金小学校課程計画審査「自己評価表」⁶⁾によると学習7領域で3~4年生は週25時限(1時限40分), 5~6年生は週27時限の標準字数と各小学校で独自に実施できる時数(弾性学習時数)を5時限実施している.(表6)

前金小学校の音楽才能クラスでは, 普通教科である「芸術と人文」と弾性学習の時間を各楽器の主科個人レッスンと副科ピアノ個人レッスン及びグルーブレッスンに充当している. 個人レッスン及びグルーブレッスンの指導には小学校側が委嘱した専門家が指導するが, その指導料は児童の保護者が負担する. 指導料は「公立中小學兼任及代課教師鍾點費支給基準」⁷⁾によると学歴により1回で520元~630元である. 小学校は場所と時間を提供する事が「高級中等以下學校藝術才能班空間設備及經費基準」⁸⁾により規定されている. 保護者は事前の入学説明会で説明を受けて3学年より入学する.



《画像1》個人レッスン



《画像2》個人レッスン



《画像3》グルーブレッスン

《表6》 学校自己評価表（2016年度）

項 目	内 容					備 考
4, 学習領域時数計画	領域時数	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	註： 1. 国民小学校，中学校芸術才能クラスの芸術と人文領域学習時数は原則として毎週6～10時間実施。（国民中小學九年一貫課程綱に依る領域時数調整，補助時間調整） 2. 小中芸術才能クラス専門課程外については，芸術と人文領域の1時間を減らすことが出来る。 美術クラスは音楽，音楽クラスは視覚芸術，舞踊クラスは音楽又は視覚芸術を1時間減らすことが出来る。 （教育部國教署102年9月9日臺教國署原字第1020084711號函）－其他藝文課程（A1）
	国語領域	7時間	7時間	8時間	8時間	
	数学領域	3.5時間	3.5時間	4時間	4時間	
	自然と健康	3時間	3時間	3時間	3時間	
	社会領域	3時間	3時間	3時間	3時間	
	健康と体育	3時間	3時間	3時間	3時間	
	芸術と人文	専門課程	2時間	2時間	2時間	
		その他の 芸文課程 （A1）	1時間	1時間	1時間	
	総合活動	2.5時間	2.5時間	3時間	3時間	
	合 計	25時間	25時間	27時間	27時間	
5, 弾力的学習時数計画（含芸術専門課程）	弾力的学習時数内容計画（含芸術専門課程）					註：弾力的学習時数 3・4年生：4～5時間 5・6年生：5時間
	弾力的学習時数					
	楽理	2時間	1時間	0時間	0時間	
	ソルフェージュ	2時間	1時間	1時間	1時間	
	合唱	5時間	5時間	5時間	5時間	
	合奏	1時間	0時間	0時間	0時間	
	合 計	0時間	3時間	4時間	4時間	

* 高雄市前金国民小学105学年度藝術才能班 音楽類/ 國樂・管樂班課程計畫審查⁹⁾

* 一部省略，日本語訳は筆者

3) 国楽オーケストラ

前金小学校の国楽オーケストラは1989年8月に開設された。その後1999年施行の「高級中等以下学校藝術才能班設立基準」により、「国楽藝術才能班（国楽芸術才能クラス）」として設置され，3学年から楽器演奏技術習得等の専門的音楽教育を実施している。国楽オーケストラは主として中国民族楽器で構成されたオーケストラでその主な編成は以下の通りである。

- 〔二胡類〕胡琴 ○〔琵琶類〕柳琴・琵琶（ピパ）・阮咸（ルアンシェン）
 ○〔琴類〕古箏（グーチェン）・楊琴（ヤンチン） ○〔管楽器類〕唢呐（スオナ）・笙・笛
 ○〔打楽器類〕鼓・鑼 ○〔弦楽器類〕大提琴（チェロ）・低大提琴（コントラバス）*（ ）は楽器名



《画像4》前金國民小學国楽オーケストラ

4) 国楽芸術才能クラス設置目標

前金小学校の国楽芸術才能クラスについては、以下の「高雄市前金區前金國民小學105學年度藝術才能班－國樂班設班目標」10)に基づき、設立基準、理念及び目標が示されている。(表7)

一. 根拠法

- (1) 「國民中小學藝術才能班課程基準」(2012年8月施行)
- (2) 「高級中等以下學校藝術才能班設立基準」(1999年6月施行)
- (3) 「高級中等以下學校藝術才能班空間設備及經費設立基準」(2008年3月施行)

二. 理念

- (1) 個性に合わせた芸術人材の養成：音楽的潜在能力を持つ児童を早期に発掘し、適切な系統的音楽教育を実施する。国楽の基礎的人材を養成する。
- (2) 人文科学、芸術文化の発展：音楽の本質と多様に発展したカリキュラムを提供する。専門的音楽素養の確立。
- (3) 芸術教育の基礎を深化：演奏能力と創作及び鑑賞の基礎的音楽人材を養成する。社会芸術環境と文化水準を振興する。

三. 設立目標

- (1) 音楽的才能児童のサポート、適正で系統的国楽教育の実施。
- (2) 音楽の本質と多様に発展させたカリキュラムを提供する。専門的国楽素養を強化する。
- (3) 演奏能力、創作と鑑賞能力を持つ国楽人材を養成する。社会芸術環境及び文化水準の振興。

《表7》 国楽クラス設立目標と能力指標

設立目標	能力指標
(1) 音楽的才能児童のサポート、適正で系統的国楽教育の実施。	1-1 システム化した技法及び曲目の進化学習に基づいた、国楽専門技能を深化させる。 1-2 ソルフェージュと読譜の進化学習に基づいた、国楽要素の表現を理解し、音楽素養を洗練させる。
(2) 音楽の本質と多様に発展させたカリキュラムを提供する。専門的国楽素養を強化する。	2-1 音楽理論の進化学習に基づいた、音域審美知能を強化し、テーマ研究の基礎を築く。 2-2 他人と共同し、合奏と合唱の調和を表現する能力、生活の中での音楽の学習を洗練する。
(3) 演奏能力、創作と鑑賞能力を持つ国楽人材を養成する。社会芸術環境及び文化水準の振興。	3-1 各児童の堪能な楽器の個別カリキュラムに基づいて、多様なスタイルの楽曲を表現する演奏能力。 3-2 多様な形式の合奏、合唱に参加することにより、演奏スタイルを探究、解析する表現演奏能力を深化させる。

*高雄市前金區前金國民小學105學年度藝術才能班－國樂班設班目標より筆者訳

5) その他の小学校の音楽教育

2016年11月に高雄市新興区にある信義國民小學（信義小学校）を訪問した。音楽才能教育には音楽才能クラス（管樂）とさらに優れた才能を持つ児童を教育する、音楽資優クラス（資優クラス）がある。信義小学校は高雄市で資優クラスを持つ唯一の小学校である。この小学校の資優クラスの教育は他の小学校と違い、個人指導が中心であり、合奏指導が無い。この小学校では独奏を中心とした教育をしているが、音楽指導担当の張育瑄先生によると合奏指導が無い事で児童相互のコミュニケーションが不足しており、その必要性は感じている。しかし、児童は普通クラスに所属しているために合奏指導を行う時間割作成が出来ないことが問題である。そこで4～6学年が1時間の合唱クラスを作り指導しているが、この調整だけでも大変であった。資優クラスでは合奏指導が難しいために、前金小学校特殊教育主任の孫秀琴先生によると、前金小学校では資優クラスを実施していない。

終わりに

台湾の普通教育における音楽教育は、日本の音楽教育と同様に豊かな情操や想像力及び個々の能力を育成するという教育目標は相似している。そして一般的な小学校で実施される芸術教科である「芸術と人文」の実態は、独立した音楽、美術及びその他の表現芸術教科を複数の指導者が授業するという以前とほとんど変わらない授業形態であった。現場の教師にとっては各教科書に沿って指導するが、日本における共通教材が無く、指導は各教師に任されており教師の指導力が授業を左右する。そして、教科ごとの詳細な指導目標はあるが、具体的指導計画を作成するのは各小学校単位で決定する。これは指導者の能力により授業レベルや児童の授業に対する充実感も指導者により左右される事になる。もちろん研究授業や教育局の指導もあるが、全国レベルの共通した教材研究や指導力の陶冶が望まれる。

また、一般的芸術教育とは別に特殊教育として、公教育において個別の能力育成を図る事が日本と相違している。このような小学校から児童の才能を伸ばす教育は、公教育の目標とするところでもあり、日本の教育でも重視するべきである。ただし、音楽においては、楽器演奏のテクニックやコンペティションの結果のみを重視する教育が偏重されると、個々の差について数量的判断のみが優先される恐れがある。また、個々の才能を小学校で判断することは難しい問題でもある。特に保護者の意向が強い小学校低学年において、その才能を自ら判断することは難しい。訪問した小学校においても芸術才能クラスに入学する児童が3学年から6学年までに、1～2割程度小学校途中で普通クラスへ変更をしている。また、中学校進学時には、他の進路への進学を理由に芸術クラスへ進級しない児童がいる。もちろん進路選択は自由であるし、適正な進路選択は尊重されるべきであるが、それまでの才能教育に費やした時間や費用について考えることも必要である。これらの理由から、公教育においては個々の才能教育への適正判断は慎重に行い、教育するべきである。また、芸術才能クラスに入学することが経済的負担も伴っている。個人負担については、優秀な児童には教育局からの補助はあるが、個人レッスンは主科と副科（ピアノ）を週1～2校時実施し、個人レッスン料は非常勤である指導者に直接支払う。小学校は場所と弾力的学習時数に個人レッスンを授業時間として提供し、学校としての負担はしない。これは、小学校3学年の芸術才能クラス編入時に説明を受け、保護者は了解するが経済的負担は大きいであろう。また、使用する楽器はピアノ以外ほとんどが個人で用意するので、さらに負担は増大する。今回訪問することは出来なかったが、芸術才能クラスにはリコーダーやアコーディオン等の器楽合奏で使用する楽器の才能クラスも存在する。これらは将来的に専門家として育成することは難しい楽器であり、小学校保護者の考え方として日本における習い事として捉えている可能性も考えられる。台湾で行われている才能教育は、真に才能がある児童に対して公教育で才能を育成する教育を実施することは意義あることである。また、台湾政府は特殊教育に見られる保護者の要望に応えた大胆な教育政策の実現など、今後の少子化時代を迎えるに当たり、台湾の将来を担う人材の育成という教育は重要である。しかし才能教育を公教育で実施する以上は、さらに厳選し才能を育成することが児童の人間形成に必要であるという目的意識が必要である。そのためには、非常勤の先生方を主な指導者として指導させるのではなく、全般的な児童育成の専門知識を備えた小学校の常勤教員が指導できるだけの技量を備えさせる事も必要である。今回は台湾での小学校公教育における音楽才能クラスについて考察したが、今後は音楽資優クラスの調査と音楽才能教育における上級学校との関係について考察していきたい。

謝意

本稿の執筆に当たり多大な協力をいただいた、台湾高雄市立前金小学校の陳瓊如校長先生、孫秀琴主任先生及び音楽科先生方、高雄市政府教育局、樹人醫護管理專科學校、その他関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

對於本次寫作給予極大幫助的台灣高雄市立前金小學的陳瓊如校長，孫秀琴主任以及音樂科的老師們，高雄市政府教育局，

樹人醫護管理專科學校以及其他的工作人員表示深深的感謝。

注

1. 高雄105 學年度國民小學音樂類藝術才能班新生聯合鑑定簡章 [http://www.kh.edu.tw/filemanage/upload/2136/105學年度音樂類新生\(公告版\).pdf](http://www.kh.edu.tw/filemanage/upload/2136/105學年度音樂類新生(公告版).pdf)
2. 高級中等以下學校藝術才能班設立標準
高雄市政府教育局105年1月29日高市教小字第10530561100 號函
3. 市立前金國小 — 高雄市政府教育局 www.chkops.kh.edu.tw/
4. 世界の合計特殊出生率 <http://www.globalnote.jp/post-3758.html>
*2015年における日本の合計特殊出生率は1.42, 台湾の合計特殊出生率は1.12である.
5. 前金國民小學學校基本資料 http://affairs.kh.edu.tw/sites/701/upload_file/15/index105.htm
6. 前金國民小學：藝才專業課程計畫 <http://www.chejps.kh.edu.tw/>
7. 公立中小學兼任及代課教師鐘點費支給基準(民國101年08月30日修正) <http://edu.law.moe.gov.tw/>
8. 高級中等以下學校藝術才能班空間設備及經費基準(民國103年12月16日修正) <http://edu.law.moe.gov.tw/>
9. 105課程計畫(音樂班) http://affairs.kh.edu.tw/704/upload/file_list/5
10. 高雄市前金國民小學105學年度藝術才能班課程計畫發展 高雄市前金區前金國民小學105學年度藝術才能班 — 國樂班設班目標
http://affairs.kh.edu.tw/704/bulletin/msg_view/4

引用・参考文献

1. 曹念慈(2004)『台湾と日本の学習指導要領の比較研究』広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学研究紀要XVI pp.91-109
2. 山ノ口寿幸(2008)『台湾「国民中小学九年一貫課程綱要」の策定と七大学習領域の誕生』国立教育政策研究所紀要第137集pp.261-270
3. 佐々木宰, 福田隆眞(2011)『台湾の小学校における芸術教育の教育課程と実践状況』北海道教育大学釧路校研究紀要第43号pp.87-94
4. 林呈馨(2014)『芸術教育における台湾と日本の比較研究』奈良教育大学大学院教育学研究科修士論文pp.1-58
5. 新村元植(2015)『台湾の幼保一元化と高雄市の幼児教育・保育事情』鹿児島女子短期大学紀要第51号 pp.61-73
6. 吉田秀文, 千明昇平(2016)『台湾における総合学習領域「芸術と人文」と我が国の音楽科教育への示唆』群馬大学教育実践研究別冊第33号pp.15-24

(2016年12月 2 日 受理)